

グローバルITガバナンス策定支援サービス

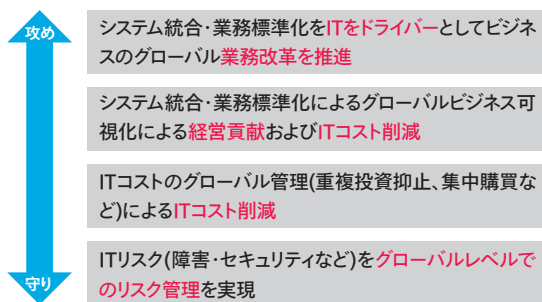
IT戦略の実現に向けて、グローバルレベルでのITガバナンス構築を支援

ビジネスのITへの依存度が高まる中、ITガバナンスが適切に構築・運営されていない企業では、拠点毎にばらばらな活動となりIT戦略が思うように進まなかったり、大規模障害によるサービス停止や機密情報の漏洩など、企業の存続を脅かすリスクが顕在化しかねません。アビームコンサルティングは、これまで蓄積してきた豊富な知見をもとにグローバルレベルでのITガバナンスの策定を支援し、企業のIT戦略の実現に導きます。

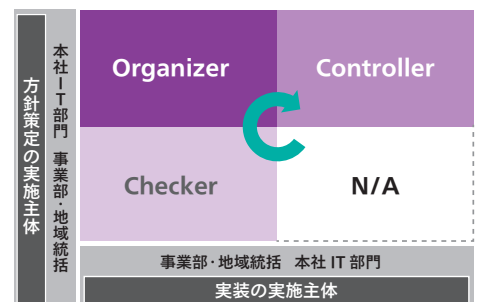
アビームコンサルティングの提供価値

ITガバナンスで目指す姿に向けた活動や、個々の脅威に対する対策「コントロール(リスク対策)」のみならず、グローバルレベルで本社の統治を実現するための「プロセス(運用対策)」を定義し、実際に動かす組織である「組織・人材(体制対策)」の立ち上げや教育を行うことで、形骸化させない仕組みを構築します。さらに、一度構築したITガバナンスについても、時間経過に伴う内部・外部の環境変化にあわせて、継続的な見直しと改善を図ります。

グローバルITガバナンス整備の目的(例)



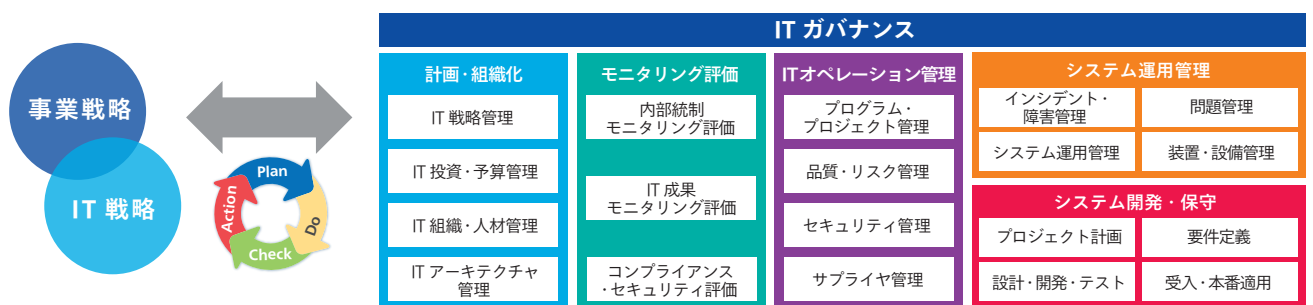
ガバナンス強度の分類(イメージ)



アプローチ

ITガバナンス策定は、①現状分析、②方針定義、③構築/定着の3ステップで推進します。

ITガバナンスをどこまで実施すべきかを定義し、各拠点の実態にあわせた展開、及び、組織・人材整備を実施することが導入時のポイントとなります。



Step1: 現状分析

Step2: 方針定義

Step3: 構築 / 定着

作業概要	Step1: 現状分析	Step2: 方針定義	Step3: 構築 / 定着
作業概要	各拠点の現状調査を行い、課題整理と対策検討を実施します。	ITガバナンス構築に向けた基本方針を策定します。	リスク対策の具現化し、組織立ち上げ/人材教育を試行しながら、継続的な改善を図ります。
タスク	<ul style="list-style-type: none"> 机上/実地調査によるガバナンス状況整理 各種IT資源の整理 各種IT業務の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の狙い・ゴールの整理 範囲/達成度基準の定義 評価/モニタリング方針の策定 役割/担当定義の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点展開計画作成 規定類等の各種文書作成 管理/運営組織整備 教育計画策定
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 拠点毎に異なる実施状況を可視化すること 根本的な阻害要因にリーチすること 	<ul style="list-style-type: none"> 狙い・ゴールに合わせ、どこまで対策を実施するか、どこまで運用を強化するか、適切に設定 	<ul style="list-style-type: none"> 現状分析結果に基づき、拠点毎に効率的/効果的なアプローチを採用すること

サービスの特徴

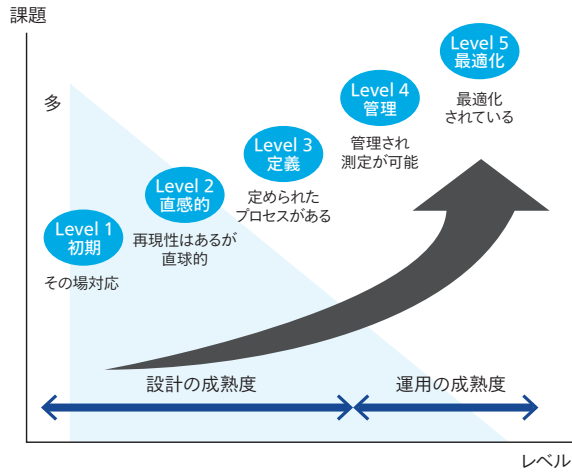
アビームコンサルティングでは、お客様に異なる目的や課題に柔軟に対応できるよう各種標準フレームワークを活用します。また、画一的なリスク対策を行うのではなく、企業や拠点毎のリスク状況に合せて、最適な方法を選択します。そして、取り組みが絵に描いた餅に終わらぬよう、構築・展開から定着・改善ステップまでトータルでご支援します。

Step1: 現状分析

拠点ごとに異なる IT ガバナンスの成熟度を、客観的な指標を用いて可視化するとともに、課題の洗い出しを実施します。また、洗い出した課題の対応優先度を評価することを目的とし、各項目の残存リスクを評価し、効果的な IT ガバナンス構築を実現します。

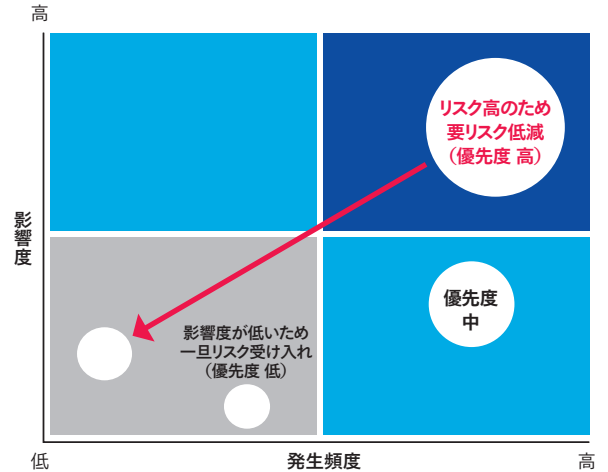
IT ガバナンス成熟度評価

IT業務ごとの各評価項目の成熟度を5段階で数値化することにより、拠点ごとの課題や阻害要因を可視化



IT ガバナンス残存リスク評価

成熟度の評価結果と、影響度・発生頻度の2軸での残存リスクの大小を可視化し、対策を優先度付け



Step2: 方針定義

拠点ごとに異なる IT ガバナンスの成熟度を、客観的な指標を用いて可視化するとともに、課題の洗い出しを実施します。また、洗い出した課題の対応優先度を評価することを目的とし、各項目の残存リスクを評価し、効果的な IT ガバナンス構築を実現します。

ITガバナンス関連フレームワーク・基準 (例)

COBIT5	ITガバナンス管理フレームワーク IT部門業務を積極的に定義 (全IT業プロセスを定義)
ISO27001	情報セキュリティ管理フレームワーク 情報セキュリティに特化、詳細化 (具体的にセキュリティ対策定義)
ITIL	情報システム運用管理フレームワーク 運用管理に特化、詳細化 (システム運用管理プロセス定義)
FISC 安全対策基準	金融機関のシステム監督基準 安全対策に特化、詳細化 (システム安定性、セキュリティ対策)

IT業務プロセスのイメージ



スコープ	どの範囲を対象とするか
達成基準	どこまで達成できればいいか
定義すべき詳細度レベル	どの程度詳細まで定義するか

Step3: 構築 / 定着

リスク対策の具現化から IT ガバナンス運用手法・体制の確立、実組織の立ち上げまでトータルで支援します。また、継続的な改善活動を組織に根付かせることを目的とし、IT ガバナンス関係者への教育・人材育成に関しても支援します。

リスク対策定義

対応内容の具体化や各種規程類などを整備し、リスクそのものに対して対策実行

対策内容	対応内容	実施内容	提供資料例
IT戦略管理	IT戦略の策定	経営計画との整合性確保	IT戦略書
IT投資・予算管理	IT投資の最適化	経営計画との整合性確保	IT投資計画書
IT組織・人材管理	IT組織の構築	経営計画との整合性確保	IT組織図
ITアーキテクチャ管理	ITアーキテクチャの策定	経営計画との整合性確保	ITアーキテクチャ書

提供資料例

運用プロセス定義

ITガバナンスを継続的に運用していくための管理方法や評価プロセスを定義

作業項目	作業内容	作業成果
運用プロセスの策定	ITガバナンスの運用プロセスを策定する	運用プロセス書
評価プロセスの策定	ITガバナンスの運用プロセスを評価する	評価プロセス書
実施体制の策定	ITガバナンスの運用プロセスを実施するための体制を策定する	実施体制書
ステークホルダーの策定	ITガバナンスの運用プロセスを実施するためのステークホルダーを策定する	ステークホルダーリスト
運用プロセスの策定	ITガバナンスの運用プロセスを策定する	運用プロセス書
評価プロセスの策定	ITガバナンスの運用プロセスを評価する	評価プロセス書

提供資料例

組織・役割定義

ITガバナンス組織を構築し、継続的な改善が図られる体制を整備

